

研究データ利活用協議会 研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会 報告書

研究データ利活用協議会 (RDUF)
研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会

【活動期間】2022年4月～2023年9月

【委員】 青木 学聡 (名古屋大学)
福田 和代 (海洋研究開発機構)
岡山 将也 (日立コンサルティング)
松本 崇博 (高輝度光科学研究センター)
中西 秀哉 (核融合科学研究所)
田辺 浩介 (物質・材料研究機構)
宮入 暢子 (フリーランス)

【運営区分】2 提言・標準等をつくるための基礎資料等の作成を目指す。

I. 活動の目的

オープンサイエンス対応を含め、研究 DX の推進には、最初からデジタル(ボーンデジタル、born-digital)な対象に加え、研究に用いた試料、史資料、機材等の有体物に関する情報もサイバー空間において参照できるようにすることが不可欠である。本小委員会では、これら有体物としての研究資源に付与する永続的識別子(PID)とこれに付随するメタデータの管理と利活用に関する調査を実施する。

II. 結果の要旨

上述の目的を達成するため、小委員会では以下の活動を行った。

- (1) 各委員による事例紹介
- (2) PIDINSTのドキュメント日本語訳作業及び公開
- (3) 関連情報の共有
- (4) RDUF公開シンポジウムにおける小委員会活動紹介

- 小委員会活動の詳細は、III. 資料1を参照のこと。
- (2)については、ドキュメントをRDA(Research Data Alliance)のPIDINST (PID for Instruments) ワーキンググループに投稿した。結果PIDINST WG本体のWebサイトでの、ソースコード及びドキュメント本体の記載が認められ、公開することとなった。詳細はIV.を参照のこと。
- 上記の小委員会活動を通じた議論の経緯と今後に向けた提言についてはIII. 資料2を参照のこと。

III. 添付資料

資料1: 活動詳細
資料2: 議論の経緯と今後に向けた提言
資料3: PIDINST日本語訳ドキュメント

IV. 成果物

PIDINSTに関するドキュメント日本語訳版の公開URL

<https://docs.pidinst.org/ja/>

- PIDINSTホワイトペーパー (PIDINST Whitepaper の日本語訳)
- ePIC クックブック (ePIC Cookbookの日本語訳)
- DataCite クックブック (DataCite Cookbookの日本語訳)

上記ドキュメントのソースファイル (<https://github.com/rdawg-pidinst/white-paper-ja>)